

新成人代表2人の「誓いの言葉」



さだかた れいか
貞方 麗華さん
(北部地区)

私たちは、1999年、2000年という節目の年に生まれ、今年、令和最初の新成人として成人式を迎えることをとてもうれしく思います。

平戸の自然と歴史のあふれる環境の中でたくさんの人に支えられながら成長してまいりました。その中には、楽しかったこと、うれしかったことのほかに、叶わなかった夢や、失敗したことなど、辛く苦しい経験もありました。そんな私たちの20年間を支えてきてくださった方々に、この場を借りて、感謝の気持ちを伝えたいと思います。

これから、40年も50年も人生は続いていきます。どんな人生を歩み、どんな大人になつてゆくのでしょうか。期待も不安も同じくらいあります。みんなから尊敬されるような立派な大人にはなれないかもしれませんが、それでも、私なりに前を向いて、夢を追いかけてまいります。



やすむら たいち
安村 太智さん
(田平地区)

私は高校卒業後、大学に進学し、現在教育学を専攻しています。初等教育を専門的に学ぶことが、昨年より福岡県内で不登校支援アドバイザーとしての委託を受け、心理カウンセラーとしての知識を生かし、小中学生を対象にした相談サポートに従事しています。

また、組織としての学校を取り巻く地域社会に視野を広げ、社会福祉の充実はもちろん、社会教育や生涯学習のあり方について日々探求しています。

平戸、生月、田平、大島、度島。それぞれの地域がもつ古き良き伝統や文化を重んじ、特色ある地域力を今こそ発揮するべきです。

すべての人がともに支えあい、ともに生きる、持続可能な社会の実現に向けて、地元「平戸」に多方面から、少しでも貢献していくことが私たち若者の使命であると信じています。

— 決意を胸に、夢に向かって羽ばたけ若人たち —

感謝と希望

二十歳の門出に大人への誓い 令和2年平戸市成人式

新春恒例の成人式。平戸市では395人が成人を迎えました。
大人としての第1歩を踏み出した新成人たちの様子をお伝えします。

令 和最初のお正月も過ぎ、冷たい風が吹く中、会場に続々と集まる新成人の目は、未来への希望に満ちていました。

令和2年の「成人の日」の前に、1月3日、平戸市成人式が平戸文化センターで開催されました。

会場には、艶やかな振袖やスーツ、羽織袴などに身を包んだ新成人が集まり、旧友との再会を喜び、記念撮影をしたり、近況や思い出を語り合っていました。

式では、新成人の代表者2人が、これまでの感謝の気持ちと、新成人としての覚悟やこれからの目標を述べました。あいさつを聞いていた新成人の表情には、これから大人になるという決意と自覚が表れたような、そんな凛々しさがうかがえました。

今年は、平戸市では395人(平戸地区209人・生月地区76人・田平地区98人・大島地区12人)が成人を迎えました。

